

『診療所のための医業承継(第三者承継)のてびき』の発刊について

1. 社会的背景

- 少子高齢化・人口減少社会を背景に、思うように後継者が見つからず、長年地域医療を担ってきた診療所や中小病院が消え、地域の医療提供体制の持続可能性が危ぶまれる事態が、全国各地で徐々に拡がりつつある。
- かかる事態の予防には、診療所や中小病院の経営者でもある「かかりつけ医」について、世代を超えて維持・支援してゆくことが重要である。
- そこでは、後継者難の診療所経営者とその志を受け継ぐ医師とをつなぐ仕組みづくりが必要になる。

2. 日本医師会の立場

- 医業経営の円滑な承継への支援が喫緊の課題である。
- 基本的な支援スタンスは次の通り。
 - ①医業承継を行う地域の医師会への支援の充実
 - ②譲渡を希望する医師と承継を希望する医師の支援
 - ③希望に応じ医療機関の承継内容の検証を支援

3. 「医業承継のてびき書」の製作経緯

- 日本医師会総合政策研究機構（日医総研）の調査からは、以下のような現場の実情が浮かびあがった(日医総研ワーキングペーパー No. 440「医業承継実態調査」)。
 - ① 譲渡希望者・譲受希望者とも、周りに話を聞ける経験者や相談者がいない。
 - ② 何を参考にすればよいのか、どこから手を付ければよいのか分らない。
 - ③ 専門家向けの文献はあるが、現場の医師向けの指南書が少ない。
- これらを踏まえ、日本医師会の政策シンクタンクである日医総研が、専門家（弁護士、税理士、社会保険労務士）の執筆協力を得て、当書籍を企画編集した。

4. 当てびき書の特徴

- 診療所の承継に焦点を当てたが、中小病院の承継にも十分応用可能。
- 事業譲渡希望者と譲受希望者 双方の立場の必要知識を網羅。
- 図表の活用。専門用語集付き、平易でわかりやすい解説。
- 第三者承継の成功・失敗の事例集を掲載。
- 承継のプロセスごとに参照可能なQ&A方式で構成。

※購入をご希望の場合は、(株)東京法規出版：Tel 03-5977-0300 へご連絡下さい。

(以上)